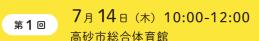
## 報告書

旧伊保幼稚園を誰でもつかえ、つどえる場所に

## 活用アイデア持ち寄り会

## 旧伊保幼稚園の活用アイデアを 持ち寄る会を開きました!

旧伊保幼稚園は 2024 年 4 月に「(仮称) 高砂市福祉総合 相談センター」に生まれ変わります。その一部に、年齢・ 性別等に関わらず、誰もが気軽に立ち寄り、使える場所を 目指す「(仮称) だれでも立ち寄りステーション」が設置 されます。この場所で「こんなことしたい!」「こんなこ とできるといいな」といったアイデアを持ち寄る会を開き ました。この資料では、「活用アイデア持ち寄り会」で、 どんなアイデアや意見が出たのかをお伝えします。



7月23日(土) 10:00-12:00 第2回 高砂市中央公民館兼伊保公民館

8月4日(木) 10:00-12:00 第3回 高砂市総合体育館









	内 容	参加者数	参加者属性
第1回	活用方法のアイデア出し	29名	福祉事業者
第2回	関わり方の宣言	17名	自治会、教員 NPO、個人事業主
第3回	アイデアを深める 必要になるコトモノの洗い出し この施設への期待	23名	地域活動団体 主婦、企業など

∖参加者の期待・願いの声/

# この場がどんな場に

だれもが支え合い 助け合える場所

障がいの ある人が働ける 場所であってほしい

まわりに気を 使わずに いられる場所に なってほしい

ちょっと疲れたときに ふらっと行って ほっこりなれる場所

> 本当に必要と している人たちが 気軽に使える 居場所づくり

> > 共生社会を

実現できる場所

みんなの居場所 そこを支える人として 参加したい。私にとっての 居場所になる

いつでも誰でも

気楽に来れる

笑顔があふれる場所

誰もが関わり合え

居場所となれる場所

私にとって 高砂市の目玉となる施設。 ここでしかないものがある

孤独や孤立で

悩む人がいなく

なるように・・

値がい者の

コミュニティ

の中枢

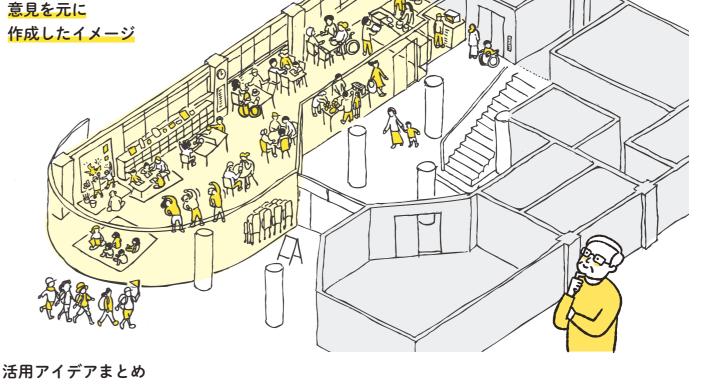
気軽に誰もか 立ち寄れる 場所!

障がい者が 希望や可能性を 持てる場になれば 嬉しいです









### 立ち寄る、つながる居場所 みんなでつくる、食べる

- ・みんなで思い思いに過ごせる場所
- 誰でもお悩み持ち寄り「まちの相談室」 (障がい、介護、育児)
- ・障がい者(児)のケア
- ピアカウンセリングの場
- ・悩みを持つ人がほっとできる場所
- ・おしゃべり相手がいる
- 自由に使えるスペースを残す
- ・子どもとシニアと障がい者も来れる 「ふれあい食堂」
- ・間違いを許容できるカフェ
- みんなでつくって食べるシェアキッチン
- ・相談に来た人も利用できるカフェ
- ・障がいを持った人が働ける場所
- お惣菜や弁当屋さん
- 地域の特産品の開発
- おためし起業スペース
- ・おしごと体験(子どもも大人も)

## 地域とつながり 学び、遊べる、伝え合う

- ・レクリエーションが楽しめる場 (卓球、パラスポーツ、体操)
- 得意なことを教えあえる場 (手芸、ピアノ、アート、昔遊び)
- ・夏休みの宿題の教え合い (自由研究、短歌、工作、絵の教室)
- ・子どもや高齢者、障がいのある人の 習いごとの場
- 学校の地域化、世代間交流 (宿題の見守り、教え合い)
- 特技を活かせる場 (読み聞かせ、野菜作り、スマホ教室)
- ・地域の歴史を学べる場 (郷土史の展示や講座)
- ・ウォーキングや歴史散策の立ち寄り
- ・自分の楽しみを披露できる場 (作品の展示・販売、自作映画上映会)
- 障がいのある人も出演できる アマチュアコンサート

## 地域内循環型の 交換、販売会

- ・出会い交流できる「まちの駅」
- ・授産品の販売
- 誰でも出店できるボックスショップ
- ・ガレージセール、不用品交換会
- ・学用品の回収販売
- ・地元の特産品の販売
- ・近隣の畑で採れた野菜のお裾分け、販売
- ・余剰食品などを集めて 福祉施設等へ配るフードドライブ





### 全体を通して

活用アイデア持ち寄り会の当日は、参加者の皆さんがわきあい あいと活発にアイデアが話し合われ、施設オープンへの期待が高 まりました。

オープンしたらこんな風に関わりたいという声も多くいただき ました。「障がい者の交流に関わりたい」「おしゃべり会を開きます」 「まちの相談室で、子どもや母親の相談にのります」「草刈りだっ たらできるよ」「ちょこちょこ寄ります」などなど。それぞれの得 意なことや、できることを持ち合い、誰もが立ち寄れる場になっ ていけそうです。

印象的だったのは、第3回のアイデア発表の際「この場は優し さを持ち合える場になってほしい」という言葉に会場の皆さんが 「うんうん」と共感されている瞬間でした。

2024 年のオープンまで、高砂市役所のホームページや SNS 等 で、引き続き途中経過を発信していきます。お楽しみに!